

有数の豪族眠る金津山古墳



旧打出村に、「小松原」という小字がみられます。小さな松林があったことに由来するものですが、その中心に小高い丘があり、巖島神社が存在しました。石の祠と石製の鳥居がありましたが、明治41年に近くの打出天神社に合祀され、動いています。

この丘は、江戸文化の華やかかなりし元禄時代に『摂陽群談』という地誌に黄金埋蔵の伝承を伴って登場します。今から約300年前のことです。

伝えによると、さらに昔のこと、阿保親王が付近の村の飢饉に備えて、金の瓦一万枚、黄金一千枚を埋めさせたと言います。そのため当時、金津の号がつき、別称として、「金津丘」「金津山」「金塚」「黄金塚」と呼ばれるようになりました。

今この丘は、全長55mを測る阪神間では有数の前方後円墳として知られています。ニワトリや馬の形をした形象埴輪や多数の円筒埴輪が樹立された墳丘の中央には、未発掘ながら埋葬施設が見つかっています。今風に言えば、市長クラスのお墓があるようなもので、当地域を支配下に治めた大豪族が、この下に眠っているようです。

周囲には、水を満々とたたえた幅数メートルの濠をめぐらし、外周りにも堤や施設があったようで、濠の中からはたくさんの遺物が出土しています。

この古墳の築造時期は5世紀後半で、阿保親王塚古墳よりずっと新しく、打出小槌古墳より若干先行するようです。先に紹介した「金瓦一万枚」の言い伝えは、恐らく円筒埴輪が割れて散乱した状況を形容したものと思われる。全国の古墳の中には、ニワトリ形埴輪を有する「金鶏塚」と呼ばれるものもあり、黄褐色を示す埴輪類をさまざまに見立てたと考えられます。

金津山古墳は、打出丘陵先端の崖面に築かれた海を大変意識した前方後円墳で、数多く認められる葺石も海浜の円礫であることが確かめられています。寛政8年(1796)の『摂津名所図会』にも、この古墳は描写され、西国街道を行き交う人々にも、「小松」と称された松の樹林に覆われた墳丘はたいへん目立った存在と思われる。

市内の遺跡



- ①朝日ヶ丘遺跡 (朝日ヶ丘町) 縄文時代前期(約6000年前)の集落跡。
- ②芦屋神社境内古墳 (東芦屋町) 古墳時代後期(7世紀初頭)の横穴式石室。
- ③芦屋廃寺跡 (西山町) 白鳳時代に建立された古代寺院跡。
- ④阿保親王塚古墳 (翠ヶ丘町) 古墳時代前期の大型古墳。阿保親王が祭られていると伝えられている。
- ⑤徳川大坂城東六甲採石場 (岩ヶ平刻印群) 江戸時代に徳川氏が再築した大坂城の採石場。
- ⑥会下山遺跡 (三条町) 弥生時代中期～後期(紀元前2世紀～紀元1世紀)の高地性集落。
- ⑦徳川大坂城東六甲採石場 (奥山刻印群) 江戸時代に徳川氏が再築した大坂城の採石場。
- ⑧金津山古墳 (春日町) 古墳時代中期の前方後円墳。
- ⑨呉川遺跡 (呉川町) 徳川氏が再築した大坂城の石垣石材を運ぶための船出し場。
- ⑩前田遺跡 (前田町) 縄文時代晩期(約3000年前)から江戸時代に至るまでの複合遺跡。
- ⑪八十塚古墳群 (六菘荘町・岩園町) 古墳時代後期～飛鳥時代(6世紀後半～7世紀中頃)の数十基からなる古墳群。
- ⑫六条遺跡 (清水町) 弥生時代前期(約2500～2600年前)から江戸時代までの複合遺跡。

【市内の指定文化財】

- 国指定重要文化財 旧山邑邸住宅(淀川製鋼所迎賓館)
- 県指定文化財 会下山遺跡・芦屋廃寺塔心礎 ■市指定文化財 伝猿丸太夫之墓・日吉神社石祠・徳川大坂城毛利家採石場出土刻印石・会下山遺跡出土青銅製漢式三翼鏃等

問い合わせ 生涯学習課文化財担当 ☎31-9066

あしやの民話 ⑬ 金津山の黄金 <最終話>

●文・三好美佐子さん
●絵・竹本 温子さん



むかし、打出を治めていた阿保親王さまは、大そうすぐれたかたであった。つねに村人のことを考え、飢饉のときなど心をいたため、村人の暮らしの心配をされたという。

村人もまた、親王さまを深く敬もって、おった。それで、亡くなられてからも、親王寺を建て、魂をお祀りした。

その親王寺の南にある打出の沖を船が通るとき、船は必ず帆を下げて通ったという。

このことを知らない船が、帆を下げずに通ると、たちまち海鳴りがし、海は大荒れに荒れ、その船は沈んでしまうとまでいわれた。

そんな親王さまが、村の人たちに残されたものがある。

明日さす

入り日 輝くこの下に
黄金千枚、瓦万枚

この歌とともに、金・銀・財宝を、どっさり金津山の塚に埋められたという。

村人たちは、驚きながらも、大喜びをした。自分たちが、暮らしているに困ったとき、この金津山の黄金を使ってもよいと、親王さまは言うてくださった。

これで、飢饉の年も心配がない。津波の家を流されても、もう大丈夫やと、ありがたかった。

この歌と塚の宝は、長い間、打出の村人たちの心に灯をともし続けた。



飢饉の年、食べるものに困っても、津波で家が流されても、だれも、金津山の黄金を掘りおこそうとか、津波で、家の瓦がなくなっても、金津山の瓦を使ったという者はいなかった。

「いやいや、親王さまは、もつとつらい時に、使うようにと、残された。もつたいないことをしてはならん。」

と、お互いに戒め合い、励まし合いをし、苦しいときを乗り越えてきた。

村人たちは、この歌や、金津山の塚を長い間、大切にしていた。

塚を掘り返したいと思う者もいたであらうが、だれも掘り返した者はいない。たたりを恐れて、掘り返したりしなかったかもしれないが、親王さまのお心に

「あしやの民話」は、芦屋に語り伝えられていたお話を、三好美佐子先生をはじめ、民話を研究するグループの皆さんが収集整理して、やさしく民話の形に整えられ、平成十一年に発行されたものです。

※今回で、「あしやの民話」は終了しました。
※長らくの愛読ありがとうございました。

広告 平成19年度 西宮市宅地分譲(入札)について

西宮市の土地を自己居住用の一戸建住宅地として16区画(南甲子園9区画・上之町5区画・弓場町・神祇官町)を分譲します。

最低売却価格・面積

最低売却価格および面積は入札パンフレットをご覧ください。

入札パンフレット配布

- 配布時期／平成19年11月20日(火)～12月14日(金)まで
- 配布場所／芦屋市役所、西宮市土地開発公社、西宮市役所、西宮市 鳴尾・瓦木・甲東・塩瀬・山口の各支所、夙川・上甲子園のサービスセンターおよびアクタ西宮ステーション

入札申込受付(公社窓口受付のみ[時間:午前9時～午後5時30分])

- 受付期間／平成19年12月3日(月)～12月14日(金)まで(土日受付可)
- 入札に参加するには事前に保証金を振込、申込受付をしなければなりません。

※お申込は個人に限ります。
※現状有姿による分譲となりますので、必ず現地確認のうえ、お申込ください。
(分譲地には、赤いノボリを設置しています。)
※その他詳細は入札パンフレットをご覧ください。

■西宮市ホームページ <http://www.nishi.or.jp/> の「宅地分譲」へ

【お問い合わせ先】西宮市土地開発公社 西宮市六湊寺3番1号 市役所東館8階

☎0798-34-7262

名塩さくら台 好評分譲中